

平成27年産 紀南の中晩柑産地情報

2015/12/01

1. 結実状況

本年の中晩柑結実量は、品種・園地により多少バラツキはあるものの、各品種とも少ない傾向にある。

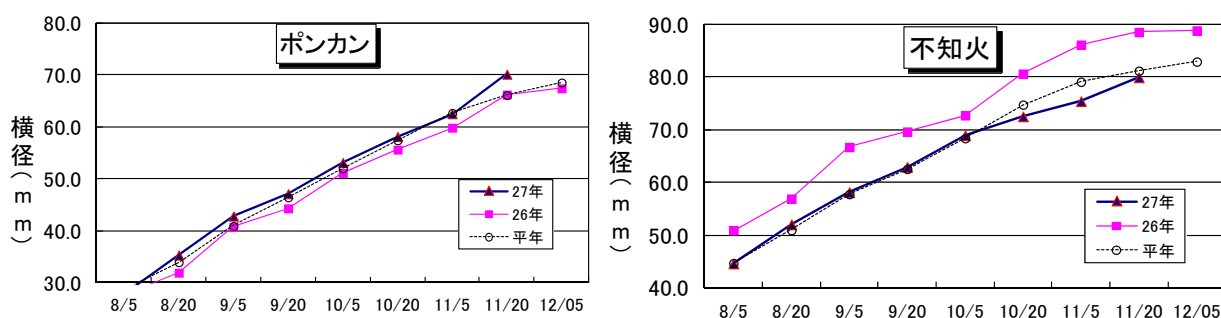


2. 果実の品質

11月6日時点の不知火の定点品質調査では、平均糖度が10.5%、平均酸度は1.75%と、糖度はほぼ前年並で、酸度は前年より減酸がすすんでいる。

11月20日時点の実肥りは、ポンカンでは前年・平年より大きく、不知火は前年より小さくほぼ前年並みとなっているが、品種や着果量によって若干のバラツキがある。11月からの高温・降雨の影響を受け、品種間わず裂果が発生しており、生産量への影響が心配されている。

中晩柑基準園の肥大状況



3. 収穫・販売予定

○木熟ポンカン

1月から本格的に収穫が始まり、2月下旬まで出荷予定。

○八朔・紅八朔

1月に入り収穫を開始、1月下旬までを予定。木熟八朔は3月上旬から販売予定。

○不知火 (デコポン)

ハウスは1月下旬から、露地は2月から販売開始予定。

4. 生産予想量 (11月末時点)

主要品種	面積 (ha)	生産予想量 (t)	生産量前年比 (%)
ポンカン	39.1	384	92.8
八朔	27.3	449	93.7
不知火	30.8	295	83.1
中晩柑合計	216.2	2,680	92.6

生産量は今後の気象等により変動することがある。